



2015年8月号

| | | |
|-----------|--|---------------------------------|
| 国際会長主題 | 「信念のあるミッション（使命・目標）」 "Mission with Faith" | Wichian Boonmapajorn (Thailand) |
| スローガン | 「恵みを数えよう」 "Count Your Blessing" | |
| アジア地域会長主題 | 「愛をもって奉仕をしよう」 "Through Love, Serve" | Edward K.W. Ong (Singapore) |
| スローガン | 「まず自分から始めよう」 "Let it Begin with Me." | |
| 西日本区理事主題 | 「あなたならできる！きっとできる」 "You can do it ! Yes, you can ! " | 遠藤 通寛 (大阪泉北) |
| | — 生きる しなやかに さわやかに — "Live flexibly and refreshingly" | |
| 九州部長主題 | 「九州から輝くワイズダム」 | 五嶋 義行 (阿蘇) |

熊本クラブ会長主題 人間のいのちの持つ可能性を追求しよう！

Let's pursue the possibilities of human life !

堤 弘雄

強調月間

Youth Activities

YMCAを理解し、ユースに寄り添い、ワイズの活動を理解していただき、身近に感じてもらいましょう。

YMCAサービス・ユース事業主任 河合 久美子(京都ウエスト)

会長通信

ワイズ フォ オール

会長 堤 弘雄

暦の上では今年は8月8日が立秋でしたが、暑い毎日が続いています。今年は台風の当たり年のように被害が無いことを祈るばかりです。

さて、報告にありますように、8月19日はウェルネス担当の続ワイズの周到な準備と手配のおかげで“打たせ船”を13名のメンバーが楽しみました。今回は5名の素敵なビジターをお迎えできたことが嬉しい収穫でした。

そして、27日(木)は納涼ビアパーティです。熊本



県立盲学校の菊池校長先生をはじめ3名の先生方、ポニーキャンプでご活躍いただいたキャンプリーダーの皆さんを迎えてポニーキャンプ報告会&ビアパーティを開催することを嬉しく思います。また、ワイズメンズクラブ九州部の五嶋部長のご臨席に感謝いたします。

(次ページにつづく→)

【今月の聖句】

「初めに言（ことば）があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。」

ヨハネによる福音書 1章1-3節

YMCAだよりで報告致しました通り、先日、YMCA委員研修会がありました。高光りょうすけ氏の講演はレイバースンとスタッフの協働に大きな力となるインスピレーションを私たちに与えてくださいました。高光氏は、人の言葉には相手の人生までを左右する大きな力があると言われました。ある教師のたった一言が生徒の人生を大きく支えることになったり、相手のよろこぶであろう言葉をシャワーのように聞かせるとその相手は非常にポジティブに変わること例等は、人を育てる使命を持つ私たちに大きなインパクトを与えました。その講演の中で、高光氏が引用されたのがこの聖句になります。

思えば、この世の中は言葉で成り立っています。何気ない一言が良くも悪くも相手にいつまでも影響を与えることがあります。

また、たった一言が相手を長い間支えてくれることもあります。言葉に神は宿ります。私たちはもっと、言葉という素晴らしいツールをもっと大切に有効に使わなければならないのでしょうか。

(藤川 登士郎)

今年は会長方針にありますように、最低5名の新しいワイズメンをお迎えしたいと思います。そのためにも、これから10ヶ月の間にひとりのワイズが1人のメンバーの紹介をお願いします。ワイズに入会すると、世界そして国内に友達がつくれます。そして、実り豊かで楽しい人生を送ることができます。自分たちだけがワイズであることの恩恵に浸ることなく、多くの仲間をご一緒に迎える年度にしましょう。

7月 Kickoff 例会報告

大 村 豊

7月23日(木)、ホテルキャッスルでのキックオフ例会です。吉岡ワイズの司会により、会長引継式、メネット会長引継式が厳かな雰囲気のうちに行われました。

堤メネットは初参加でした。我クラブを楽しんで貰いたいものです。カメラマンは、川上安生さんです(入会間近と期待しています)。みなみクラブの池澤会長と堀ワイズ、九州部からは、桑原ワイズの参加もありました。



堤ワイズが参加した、NHKが同行取材した「ビデオレター」による、ミャンマー、カチン州モガウンのヌーヌーさんが施設長を務める学生家(孤児院)の様子が紹介されました。全世界へ向けてNHKのBSにより放送されたそうです。自己紹介をする女の子のほっぺたに白いおしろいを塗っている様子は文化の違いとはいえた面白いものでした。ヘロインによる被害やエイズ感染者が増えているという残念なお話しもありました。



会長の所信表明は会長主題の「人間のいのちの持つ可能性を追求しよう!」という前向きなメッセージです。熊本クラブの歴史をふりかえり、毎月の例会を充実させて、メンバーを増加させてクラブを発展させねばなりません。1人1人のメンバーが堤会長のもとで精一杯頑張ろうというものです。ニコニコも17,650円でした。例会の司会は今村ワイズでした。二次会も多数参加して、賑やかでした。

例会スナップ



《引継式 司会は吉岡 Ys》



《Happy birthday》



《みなみクラブ池澤会長、桑原 Ys、堀 Ys》



《15 - 16年度クラブ役員の皆さん》



《皆さまのご参加に感謝申し上げます。》

ポニーキャンプ報告

☆

大 村 豊

7月23日(木)、続ワイズは、前日注文して、その店舗の冷蔵庫で冷やして貰ったスイカ2個を早朝に受け取りに行き、その後、野口メネットをお迎えに行き、次に私の事務所に午前9時に立ち寄ってくれました。その後、内田ワイズをお迎えに行き、合計4名で国立阿蘇青少年交流の家に向かい、そこには午前10時30分頃到着しました。



生徒12名、熊本県立盲学校の先生6名、YMCAスタッフ2名、リーダー24名の合計44名による第42回ポニーキャンプは、数年前から世界文化遺産を目指す阿蘇の大草原の中にある上記の施設で行われているのです。先生方はピンクのTシャツ、YMCAのスタッフとボランティアリーダーは緑のTシャツです。阿蘇の大草原は、風がさわやかで空気がとてもおいしいのです。



開所式を経て、昼食は大食堂でバイキング形式によるおいしい料理をいただきました。牛乳、ジュースなどメニューも沢山ありました。

子供達や若いリーダーの様子をみているとそれだけで私達も若返るし、刺激をうけます。昼食後、子供達は、去年は草スキーを楽しみましたが、今年は、天気予報が雨だったこともあり、急遽、平成7年頃開設のアゼリアという阿蘇市の温水の50メートル公設プールでの水泳プログラムとなりました。プールの観覧席はあまりにも暑くて、短時間で冷房の効いた部屋に移動し、高校野球(県予選)のテレビを見ることとなり、又、昼寝まで楽しみました。

午後3時半過頃、先に青少年の家に帰って準備したスイカをみんなに食べて貰いました。その後、私達は、青少年の家を出発し、古閑の滝を少しだけ見物して、高森町を経由して、例会へ出席するため帰途につきました。

続ワイズの上手な運転により、わずか5分の遅刻で、司会の吉岡ワイズによる吉本前会長から続会長への引き継ぎ式に出席することができました。

続ワイズの自動車の助手席で、一日、阿蘇の景色を楽しむことができました。感謝します。続ワイズから、阿蘇の牛は、毎日日焼けして、その体の色が変化して、赤、茶、黒と変化していくことを教えて

貰いました(冗談です)。感謝です。有意義なプログラムでした。

☆

続 博

7月23(木)、24(金)の両日国立阿蘇青少年交流の家で開催された恒例のポニーキャンプに大村ワイズ、内田千佐子ワイズ、野口ワイズ、続ワイズの4人が参加しました。

県立盲学校の生徒さんが16名、藤本ポニーキャンプディレクター、昨年同様上村チーフリーダーはじめ専門学校の各リーダー、林田先生他盲学校の先生、Yの職員あわせて44名の参加でした。

熊本市は朝から猛烈な雨が降ったり、止んだりの天気で昨年大変人気だった草スキーは急遽プログラムが変更され、近くの温泉プール施設「アゼリア21」でプール遊びに変更され開催されました。



今年も大きなスイカ2個と、真夏日を想定しジュースを50個、それに大村ワイズからチョコレート2箱をプレゼントして2日間のキャンプを大いに楽しんでもらうことになりました。特に15:00からのプール遊びの後の冷えたスイカには例年通り、とっても喜んでもらいました。

始めた頃は曇り空だった仙酔峡の大草原は、いつの間にか快晴の輝きとなっていて真正面の高岳、少し東の根子岳はとても雄大な景観を見せっていました。スイカタイムもあつという間に終わり16:00参加した4人のワイズは青少年の家を後にして19:00から開催の7月例会出席に向けて帰路に着きました。

毎年の事ながら、このプログラムの運営にはリーダー達の大活躍無しではできません。この経験を生かして、将来に大いに役立てて、大きく羽ばたいて下さい。尚、今回も喜んで参加されました内田ワイズのところへチーフリーダーの上村さんが近寄ってきて、自分が清水中学校の2年生の時、養護学級の先生をされていた頃の思い出話をし始めて長い事、とっても会話が弾んでいた事がとても印象的でした。(内田ワイズ来年も是非参加しましょう。)

野口ワイズは真正面の高岳、根子岳の雄大な景観に久しぶりにめぐり会えてずっと感動のしっ放でした。

ご苦労様でした！！



“うたせ船”でウエルネス

今村 伊久子

8月19日(水)のウエルネスは総勢13名、芦北で“うたせ船”を楽しみました。5人のビジターをお迎えしましたので、行きのバスの中では全員が自己紹介や近況報告をしたりと、和やかに過ごしました。心配されたお天気は、小雨がぱらついたものの、上々でした。平日なので渋滞も無く、休暇をいただいた甲斐がありました。

船はトイレ付き、キャビンにはエアコン完備のレディース船はとても快適で、波も静かでした。

船頭さんは名門の漁師の家に生まれ育った方で、お爺さまとお父様2代、地元ではチャンピオン級の漁師さんだったそうです。”うたせ船”的由来や、芦北地方における漁業の変遷など分かり易く話してくださいました。

漁師歴20年、お話しの間に風が変われば直ぐさま察知して、素早く船を操られる姿は流石ベテランです。“獲物を狙う鋭い目をした先代方”とは一味違う進化した漁師さん、なかなかのエンターテナーでもありました。

うたせ船は帆に受けた風で船(網)を進める底引き網漁です。底引き網は原則禁止だそうですが、動力を使わず、自然の風を利用した漁に限り許されているのだそうです。

“神無月(10月)にはあちこちの神様が移動するから風向きがくるくる変わる”、“雲や遠くの海の色の様子で風を読む”、自然と生きる漁師さんならではの知恵です。

昔は魚がたくさん獲れ、サラリーマンとは2桁違う収入が得られたそうですが、今は魚が減ったことに加え、いい風が吹かなくなったことも、漁獲量の減少に追い打ちをかけていると聞き少し驚きました。

ちなみにこの日も風が無かったことに加え、イルカが湾に入ってきたとかで、釣果はさんざん、コントロール不能な自然を相手にするのはなかなか大変です。



台風の進路予想など無かつた時代は、台風から命からがら港に逃げ、それでも逃げ遅れた船があれば、助けるために再度皆で沖に出て、網で舫い合い嵐に耐える、今では想像も出来ない先代方のご苦労と絆の強さがあって、今の時代にうたせ船の伝統が継承

されていることをあらためて素晴らしいと思いました。

のんびり風任せ、静かな船の上で獲物を待ちながらのお昼は豪華な漁師料理、堤会長提供の大吟醸も頂き至福のひとときでした。

また夕食も、お土産に頂いたシログチ(※)をお刺身とお煮付けにして、何とも美味しい一日になりました。

コンクリートの箱の中に居てスイッチで涼を取る暮らし、自然への畏れをつい忘れてしまいがちでしたが、海の幸、自然への感謝をあらたにする一日にもなりました。

魚が減り、いい風が吹かなくなった厳しい状況の中、”走りながら考える”船頭さんご夫妻は、“うたせ船”的予約が無い日は、“岡で介護の仕事”をされているそうです。

釣果は二の次の観光が伝統漁法継承の一助となっている現実に少し複雑な思いを抱くものの、ひとつの漁業の進化形とは言えるのかもしれません。

☆Special thanks♪

続ワイズ、大変お世話になりました。また一緒にございました皆さま、お陰さまで楽しかったです。ありがとうございました。

※身が柔らかいグチですが、綺麗な白身の美味しいお魚です。

3枚におろし、皮目に熱湯をかけ、氷水で締めたお刺身は、絶品でした。

ポン酢と紅葉おろしも良いかも知れません♪

「芦北うたせ船」

続 博

本年度最初のウエルネス企画となります「芦北うたせ船」が8/19(水)前日の降雨はすっかり上がり、曇り空ではありましたが丁度良いそよ風が吹く中、船上は全くクーラーも要らない絶好の漁日の中でビジターを含め13名が出席し、開催されました。
10:00 計石漁港出港 (参加者: 堤会長、岡崎メン、今村メン、今村メネット、赤星メン、布田メン、野口メネット、続メン、ビジター: 吉本氏、佐々木夫妻、木股氏、松本氏、)

前回も利用した「漁福丸(船長須崎さん)」でうたせ船の歴史や、親子2代に亘る漁の技術などの詳しい説明の中約2時間の底引き網漁を体験し、その間、堤会長とビジターの吉本寛治さんは、予め準備してきていた釣竿で1本釣を始めました。ほかの皆さんも船長が準備していた、糸釣りを入れ替わり体験していました。皆大物を期待していましたが残念ながら誰一人収穫無しでした。

12:00から楽しみの船上料理の昼食が始まり、5種類の刺身、赤足えびの塩焼き、小海老の茹で上げ、あらの煮付け、子イカの煮付け、おにぎりなど船上

一杯の料理で大満足でした。

13:30 愈々底引き網を揚げる時間です！！約 200Mの網がゆっくりと引き揚げられていきます。皆かたずを呑んで見守る中 2つの網が全て揚がり、獲物が箱の中に移されてしまいました。よく確認しますと約40cmの「はも」2匹と昼食べた小海老20匹位、ひらめの子供等など、土産に持ち帰るにはチョットつらいものばかりでした。

14:00 計石漁港に帰り予め船長が準備していた土産の魚「シログチ」を一人3匹ずつ頂き

14:30 帰路に着き途中道の駅「田ノ浦」に立寄り定刻の 16:00 に無事帰着しました。

期待していた獲物には出会うことは出来ませんでしたが、穏やかな天気の中で楽しくウェルネス気分を味わっていただいた事で担当者はホッとしている処です。

お疲れ様でした！！



「うたせ」の意味に迫る

赤星 敦

帆を張った優雅な姿が海の貴婦人と呼ばれる「うたせ船」、それに乗りたい永年の夢が 8月19日に続さんのお蔭で実現しました。

ところで「うたせ」の意味は何か、以前から疑問でした。ネットで調べると、「船を風に流す事」を「打たせと言う」説が多数ですが、風に流すと打たせに共通するものが何も感じられず、納得できません。また、波が船を打つから打たせ船と言う説もありますが、これも納得できませんでした。

当日、船頭さんが話してくれたことに、はっとしました。

「じいちゃんの時代にや、帆は藁（わら）で編んだ筵（むしろ）だったけん、風が藁の隙間から抜けていくとです。そっで帆に水ば掛けていたけん、打たせ船て言うとです。」

確かに温泉でお湯を肩に掛けることをうたせ湯と言います。水をかけることと打たせには共通する意味合いがあるようです。私は船頭さんの説が正しい

と確信し、帰宅後ネットで調べましたが、藁の帆のことや水撒きについて触れている情報は何も見つかりませんでした。

そこで私の推理です。船頭さんのじいちゃんの時代（明治）には、軽くて丈夫な帆布は漁師には手に入らず、帆は藁で作られていたに違いない。しかし、藁は陽に当たると乾燥するため帆に隙間が出来、風が通り抜けたのだろう。そこで海水を掛けて、藁を膨張させることで隙間が詰まり、風を受け止めたのだろう。その大変な仕事のため、打たせ船と称したと思うがどうだろうか。

明治のある日、太陽が燐々と降り注ぐ中、風を逃がすまいと、船頭さんが必死に海水を帆にかけている姿が目に浮かびます。今はその姿を見る事もなく、知る人も少ないが、私は「うたせ」の真の意味を今後とも調べ続けるつもりだ。



◇◆◇ ワイズ運営メモ [スケジュール]

月/日 (行 事)

8月

27日 納涼ビアパーティ例会（城彩苑）

9月

7日 熊本地区ネット交流会（テルサ）

9日 熊本連絡会議（東部 Y19:00～）

10日 事務例会

24日 メネット例会

27日 熊本Y 防災ワイルドピック

10月

17日 九州部会（阿蘇プラザホテル）

15-16年度 新たな会員 5名を

1人が1人を！

積極的にビジターをお誘いください。

ネット交流会

◇ 9月7日（月） 19:00～ ¥3,000
熊本テルサ（熊本ひがしクラブ）

京都に集うワイズ900名!

吉本 貞一郎

7月31日(金)から8月2日(日)、ウェスティン都ホテル(京都市)を会場にアジア地域大会が開催されました。熊本クラブからは、堤会長と私の2名の参加でしたが、国際議会が開催されたこともあり、世界中から900名のワイズが登録され、さすが京都部と素晴らしい大会とその運営に感心いたしました。



初日、開会はフラッグセレモニー、アジアエリア旗やクリスチヤンエンファシス旗を先頭にアジアエリア各国の国旗とロールコール。岡野泰和(大阪土佐堀)直前アジア会長の開会宣言で、大会テーマ

「Start future now! ~未来を始めよう、今すぐに~」のもと、大会が開会されました。門川京都市長や山田APAY総主事の祝辞等のセレモニーの後、国際役員の就任式、アジア地域役員の就任式が行われ、熊本YとゆかりのあるシンガポールのEdward K.W. Ong氏がアジア会長に就任されました。

キーノートスピーチはスペースシャトル「エンデバー」に搭乗された毛利衛氏、テーマは「宇宙からの贈り物」でした。当然、宇宙から見る地球はひとつのもので国境も見ることができないとの言葉は印象的でした。宇宙の尺度で考えれば、たまたま気候が安定して生命が進化し、現在の私たちに「つながって」いる。さまざまな人類の行為で私たちにとって唯一の地球の環境が壊されている現状への危惧を話されました。同じ家の中で争いをし、自分の部屋はきれいでも廊下にはゴミ、そんなイメージを抱いてしまいました。



IPAP(直前アジア会長)主催の晩さん会は、京都五花街(祇園甲部、祇園乙部、先斗町、上七軒、宮川町)の舞子さん、芸子さんの華やかな踊りで開催され、楽しい一時を過ごしました。(もちろん、京都グローバルの皆さんともお会いできました。)

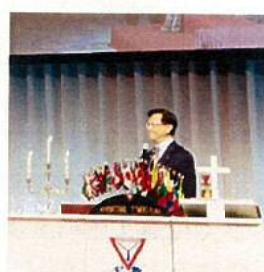
その他にも、分科会や様々なプログラム、ユースコンボケーション報告等、ワイズとしても有意義な時を過ごすことができ、国際的なコンベンションを十分に楽しむ事ができました。



ご奉仕いただいた京都部の皆さんやマーシャルとして活動された皆さんに感謝を申し上げます。2日目のAP(アジア会長)ナイトは中堀清哲Ys(鹿児島)の司会、ジェーンズ前田Ys、熊本にし中西Ysをはじめ九州のメンバーも頑張っていらっしゃいました。本当に感謝です。

思えば、1988年に多くのメンバーに誘われて京都国際大会に初めて参加して27年、渡邊さんや朝比奈メネット、野口ご夫妻、富永さん、坂本さん、大村さん、その他にもたくさんメンバーと国際大会やアジア大会に参加できたことを懐かしく思い出します。今回は2名の登録でしたが、来年は台湾での国際大会、再来年はシンガポールでのアジア大会、たくさんのクラブメンバーと参加したいものです。

そう言えば、国際大会の旅の中で朝比奈メネットの誕生会をしていました。



『西村ISG エドワードAP』

熊本Y 委員研修会で感じたこと

吉本 貞一郎

「井形に組んだ木がカタカタ、カタカタと音を立て燃え上がりながら、小さく下へ落ちていくのを、皆で火の周りを取り囲んで座ってじっと見つめます。

(略)

『この薪をご覧なさい。自分の身体を燃焼させて、人のために明かりと暖かさを与えています。そして、自分は燃え尽きて灰になって行くのです。この薪のような精神を持って社会に貢献していくことが、今の、またこれから私たちにもっとも必要とされていることではないか』大きな声で話される。(略)人工的なものは何もない大自然のなかで、キャンプファイヤーの火が瞬いています。

先生のお話を聞いているうちに、『そうだ、世の中のために生きなければいけない。全身全霊を尽くして頑張ろう』という気持ちが心の底から熱く湧いてきます。

リーダーたちもみんな涙を流しながらお話を聞き入り、先生と固い握手をしました。

私も、あんなふうに素晴らしい感動を若者たちに伝えられるようになりたいと、強く心に思うようになりました。」(本間立夫著 「当たって砕けよ！」)

YMCA のプログラムには共感が必要です。委員研修会のお話を聞きながら、このような心が揺さぶられる思いをした YMCA スタッフやレイパーソンが少なくなってしまったのではないかとの思いが浮かんできました。実際の経験でなくても、資料を読み、Y プログラムの意義をしっかりと理解することが必要だと思います。そして、その感動を次の世代につないでいく、そのような価値があるから、私たちは YMCA にロイヤリティーを発揮できると思います。

YMCA のプログラムが参加者(キャンパー等)にとって意義あるものとなるためにスタッフ、レイパーソンともども共感を生み出して行きたいものです。

理事通信 8月

第 19 代西日本区理事 遠藤 通寛



みなさま、猛暑が続いますが如何お過ごしでしょうか。去る 2015 年 7 月 31 日(金)～8 月 2 日(日)にかけて、第 26 回アジア地域大会が盛会のうちに終了いたしました。昨年の 5 月 16 日に開催された、第 1 回の HCC より当 日まで(実働はそれより以前からです)が)の長きに渡り、数多くのワイズ、ワイズメネットのお働きがございました。参加登録者 911 名、そして AYC より 48 名の参加者を加えた素晴らしい大会となりました。岡野泰和アジア地域会長の「未来をはじめよう今すぐに」“Start Future Now”を合言葉に、テーマに沿ったプログラムと共に、若いメンバーを中心に運営されました。次代のリーダーとして、今後大変活躍されることでしょう。東日本区より駆けつけていただいたマーシャルを含めたマーシャル委員会の皆様のお働き、1 年前の盛夏に下見に行かれて準備をされたエクスカーション委員会、AYC のお世話のためにお迎えから見送りまですべてのお世話をされたユースコンボケーション委員会、全国を PR した広報委員会、大会当日のブリテンを発行された広報、翻訳委員会の皆様は不眠不休でブリテンを作成されたのではないでしょうか? プログラム委員会はぎりぎりまでシナリオの微調整をし、スムーズな進行をされました。WEB、登録、総務、会計、受付すべてが素晴らしいハーモニーをもって大会の成功へと結びつけたのだと思います。森田美都子委員長、田中博之東日本区直前理事をはじめ委員会の皆様と共にアジア地域大会に参加できたことに感謝申し上げます。

【YMCA だより】

連絡主事 藤川 登士郎

☆ 新しい運営委員会のスタート

6 月 18 日(木)開催の第 415 回常議員会にて各 YMCA の新しい運営委員長が選任されました。任期は 2015 年 6 月 1 日～2017 年 5 月 31 日の 2 年間です。

☆ 「熊本 YMCA 委員研修会」

8 月 20 日(木)18:30～21:30 中央 YMCA ジェーンズホールにて熊本 YMCA 委員研修会行われました。

今回は感動教育家 高光りょうすけ氏による「あなたの中の天才と出逢う瞬感!」と題して 2 時間 25 分の講演とワークショップが行われました。「大人が変われば子どもが変わり、子どもが変われば未来が変わる」「人生に夢があるのではない、夢が人生をつくる・・・・」等 スタッフとレイパーソンの協働で、互いに世界に一つしかない大切な存在として認め合い、同じ使命達成に向けて、それぞれの天才を引き出し、互いに仕えあっていこう!とのメッセージをいただきました。

☆ ネパール大地震支援募金、150 万を超える。

皆様のご協力によりネパール大地震緊急支援募金額が、7 月末現在で 1,522,659 円になりました。この募金は熊本のネパール人留学生をはじめ、日本 YMCA 同盟を通して被災地支援のために用いられます。

熊本 YMCA は 12 月まで継続して募金をしています。これからも皆様のご協力お願い致します。

☆ 「第 23 回会員スポーツ大会」

9 月 27 日(日)午前 8:00 より中央 YMCA 体育館にて行われます。今回は「防災ワイリンピック」と銘打ちバケツリレーや搬送リレーなど防災をテーマにした競技を行いながら、YMCA 会員の親睦を深めます。参加対象は、会員、家族、地域、YMCA と交流のある団体等です。皆様のご参加をよろしくお願い致します。

【編集後記】

25 日、台風が熊本を直撃いたしました。皆さん、被害等ございませんでしたか。幾度となく上手くかわしてきた熊本ですが、今度ばかりは! 風が強かったです。

そして、台風とともに夏は終わるのでしょうか? 夏(夏休み)は青少年を育ててくれます。YMCA もたくさんのプログラムを開催し、参加者の総数はかなりになると思います。それに有意義なものであったと願っています。半世紀前の少年時代を懐かしみながら…。次の秋を楽しみましょうか。(吉本)

'15-'16 熊本ワイズメンズクラブ 8月事務例会記録 抜粋
日時：8月 12日(水)19:00～21:00 場所：熊本中央 YMCA 紫恩会室
出席：堤 吉本 藤川 木山 岡崎 岡崎 Mnt 大村 今村 (出席 8名)

【協議事項】

1. 例会

- 1) 納涼ビアパーティ例会 8月 27日 (木) 18:30～21:30 司会 (続)
①実行委員会 (続・米倉)
②場所 (城彩苑) 多目的交流施設 (報告会) 夢あかり (懇親会)
③招待者 Y担当・リーダー/藤川、盲学校/藤川 学Y (熊大・ルーテル) /小山メンに依頼済、在熊ワイズ/
④会費 メネット4,000 ビジター4,000 未成人コメット等無料
⑤九州部長公式訪問
- 2) メネット例会 9月 24日 19:00～21:00 キャッスル
司会・食前感謝：未定 卓話者案：阿部さん 堤会長紹介
内容等 (東日本震災を忘れない)
- 3) 10月例会 10月 22日 19:00～21:00 キャッスル 司会・食前感謝
卓話者：(候補をリストアップし、9月事務例会にて詳細検討)
- 4) 11月例会 11月 26日 19:00～21:00 熊本ホテルキャッスル
EMC例会とし卓話者を検討。

2. 西日本区 区費納入について

3. YMCA 会員スポーツ大会 9/27(日) 防災ワイルドリック
9/18 申込〆切 担当を吉岡 Ys と立石 Ys。協賛金¥10,000 (ニコニコ)

4. 九州部 部会 10月 17日 (土) 場所：阿蘇プラザホテル
○締切 9月 17日 (木) まで ○登録費 メン 10,000 メネット
9,000 コメット 2,000 フェローシップ 3,000

※ 評議会 部会のみ参加は、メン メネット共に 2,000
部費納入

5. ブリテン原稿 8/22 (土) 必〆切 ・例会報告・会長通信 (堤)
ポニーキャンプ・アジア大会・ウエルネス・YMCA報告 ・他

6. ジャガイモ 荷降ろし案 10/18 (日) or 10/25 (日)
販売価格確認 9/9 (水) 連絡会議で確認 販売目標

7. その他 ・連絡網確認 ・Yspal-9 登録 ・熊本クラブ EMCの取組
・熊本地区メネット交流会 (ひがし C) 9/7 19:00～熊本テルサ ¥3,000.-
・クラブファンド コーヒー・お米 他

【報告事項】

1. 熊本連絡会議 9/9 (水) 東部YMCA
2. ポニーキャンプ 7/23～24 阿蘇青少年交流の家
3. YMCA 7/31 P 協会企業交流会 ビール列車 8/20 委員研修会
4. その他 BF活動として、切手切りを計画する。

YMCA の歌

若人の あつきいのりは 百年の歴史をつづる
とこしえの のぞみにもえて さかえあり
YMCA われらまた こぞりて起たん



熊本 YMCA の歌

森の都の朝ぼらけ 有明波の凪ぐところ
み神の愛といさおしを 称えて集う若人の
心に響くときの声 目覚めて今ぞ 立ち上がり
YMCA こぞれりここに

目的

ワイズメン、ワイズメネットは一個の理想主義者であることが求められております。

それには、何をおいても先ず YMCA に対する奉仕を旨とし、YMCA とのつながりを一層強め深めるための方向づけや活動方針、さらにはそのための具体的プログラムの策定など、クラブがそれぞれの地にあってこれらを実現し、献身奉仕することを心がけなければなりません。

みんなのものが一つとなってワイズダムの"きずな"をより堅く結び、ともども YMCA 運動へ仕えることを願うものです。

- Our Motto -

"To acknowledge the duty that accompanies every right"

Today's program

| |
|------------------------------|
| 2015年8月 27日 18:30～21:30 |
| 城彩苑 会議室 ・ 月あかり |
| 8月納涼ビアパーティ例会 |
| 進行：続 Ys |
| ポニーキャンプ報告会 |
| (城彩苑 会議室) |
| 開会挨拶 会長 |
| ゲスト紹介 |
| ご挨拶 熊本盲学校長 |
| ボニー報告 担当 Yスタッフ |
| リーダー |
| 懇親・納涼ビアパーティ |
| (城彩苑 月あかり) |
| ビジター紹介 |
| ご挨拶 |
| 五嶋義行 九州部長 (阿蘇) |
| 食前感謝 堤 会長 |
| 乾杯 |
| (懇談) |
| Happy birthday & anniversary |
| 謝辞・閉会挨拶 |

先月例会記録 (2015.7.23)

| | |
|------------------|---------|
| 在籍会員 | 28 |
| 出席会員 | 13 |
| 功労会員 | 1 |
| 広義会員 | 1 |
| マイキャップ | |
| 出席率 | 50.0% |
| ゲスト | |
| ビジター | 4 |
| メネット | 7 |
| コメット | 1 |
| 例会出席総数 | 25 |
| BF (プラザーフッドファンド) | |
| 2015 年度献金 (現金) | |
| クラブファンド (ニコニコ) | |
| 前月残高 | 124,330 |
| 7月献金 | 17,650 |
| 7月支出 | 8,150 |
| 7月残高 | 133,830 |